

令和5年度 公民館主催事業計画書

令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和6年1月24日

	実施館	事業名	基本方針	期間・回数	事業概要	主な講師等
1	柳沢	【共催事業】 西東京市民映画祭2024 第20回自主制作映画コンペ ティション最終予選会 ※西東京市民映画祭2024実行 委員会との共催	3	2月3日 土曜日 10時30分から18時	自主制作の短編映画（上映時間20分以内）を全国から公募し、受賞作品を選ぶ自主制作映画コンペティション。一次予選を通過した応募作品の中から、5月に開催される本選で上映する作品を選ぶ最終予選会を公開で実施する。	篠原哲雄（審査委員長、映画監督）
2	柳沢	ライフデザイン講座	1 2	2月15日（木曜日）から 3月13日（水曜日） 19時30分から21時15分 全3回	主に20代から50代の勤労世代を対象に、人生における仕事・お金、家族の位置付けや、自分の心と身体のみカニズム等を学び、生きがいや生きる意味について講師との対話をメインに考えていく。講師は、著書多数の精神科医。第1、2回はオンライン、第3回はリアル登壇。定員は会場30人、オンライン30人。	泉谷閑示（精神科医、音楽家、評論家） ファシリテーター：若井千鶴（泉谷セミナー事務局員）

3	柳沢	<p>【共催事業】 第18回人形劇フェスタin西東京</p> <p>※人形劇フェスタ実行委員会との共催</p>	1 3	<p>3月3日 日曜日 ①10時から ②11時15分から ③13時から ④14時30分から 4回</p>	<p>「子どもたちが気軽に人形劇を楽しめる機会を西東京市に根づかせたい」と願う市民活動団体が実行委員会を立ち上げ、公民館との共催事業として実施する。人形劇、影絵、パネルシアター上演のほか、武蔵野大学こどもボランティア部による工作の部屋も設ける。</p>	井上幸子（人形劇団プーク）
4	田無	田無公民館まつり	1	<p>3月10日 日曜日 10時から15時40分 【展示】 3月1日（金曜日）から 3月14日（木曜日）</p>	<p>田無公民館を中心に活動しているサークルの活動成果を発表する場、交流の場として、実行委員会方式で実施する。</p>	
5	谷戸	<p>インクルーシブな社会をめざす講座・親子講座 みんなで楽しくアート！ ～新聞紙ピラミッドをつくろう～</p>	1 2	<p>2月17日 土曜日 14時から16時</p>	<p>地域の社会福祉法人ウーノの協力のもと、共同作業を行う中で、お互いに知り合い、ふれあうきっかけをつくる。みんなで一緒に力を合わせて完成させる喜びを知ってもらう。</p>	山田修平（立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科准教授、NPO 法人東京学芸大こども未来研究所理事）
6	ひばりが丘	<p>教養講座Ⅱ 「にんげんをかえせ」上映×トーク 草の根パワーによる非核・平和運動のヒント</p>	2 3	<p>3月16日 土曜日 14時から16時30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映画「にんげんをかえせ」を上映し、核兵器の悲惨さ、理不尽さを可視化する。 ・作品が作られ上映された経緯を、米国で「にんげんをかえせ」の上映に携わった実践者から直に聴くことで、「非核・平和」の思いをつなぐことの意味や意義をとらえ返す。 ・草の根パワーを結集すれば、世界中に「非核・平和」のメッセージを広めることができるという確信を持つことで、一人ひとりが自分にできることを考える機会を提供する。 	<p>中村里美（日米協力草の根プロジェクト「ネバー・アゲイン・キャンペーン」第1期生。民間大使として渡米し、米国各地の学校をまわり『にんげんをかえせ』を上映） 平野叶大（早稲田大学文学研究科教育学コース修士課程） ※上映作品『にんげんをかえせ』（16ミリフィルム、20分、1982年）</p>

7	保谷駅前	環境講座 再発見都市林の大切さ 屋敷林の魅力	2 3	2月17日 土曜日 10時から12時 2月17日 土曜日 14時から16時 2月24日 土曜日 14時から16時 全3回	東京大学大学院農学生命科学研究科附属田無演習林と下保谷四丁目特別緑地保全地区という2つの地域資源を活用して、都市林、里山林の魅力や大切さを学ぶ機会を提供する。	前原 忠（東京大学大学院農学生命科学研究科） 高橋家屋敷林保存会
8	保谷駅前	【共催事業】 地域講座 警女唄が聞こえる ※高橋家屋敷林保存会との共催	1 3 4	3月7日 木曜日 ①11時から12時 ②14時から15時 2回	・高橋家屋敷林保存会と共催し下保谷四丁目特別緑地保全地区「高橋家母屋」で実施し、参加者が地域にこのような施設がある事を知る機会とする。 ・保谷市史編纂委員会が編集出版した『下保谷の民俗』の中に「毎年三月頃になると大泉出身の警女が弟子を連れて下保谷に来ていた」という記述がある。その歴史の追体験として、また、誰もが学べる学習機会の提供として企画する。	小関敦子（越後警女唄伝承者。「萱森直子」に師事。同氏主宰「さずきもんの会」所属。2018年CD「ごぜうた第1集」「ごぜうた第2集」発売。2019年映画「警女GOZE」に「警女唄指導者」で参加）
9	保谷駅前	【共催事業】 防災講座 防災に強くなる 自助・共助を知る ※北東部地域協力ネットワーク「ほくっとネット」との京共催	2 3 4	3月9日 土曜日 3月17日 日曜日 3月24日 日曜日 14時から16時 全3回	地震発生時に命を守るための行動（自助）や、救出・救護などの地域での助け合い（共助）について学ぶ機会とする。	筒井孝敏（ラジオフューズパーソナリティ） 莊 雄一郎（西東京レスキューバード代表） ほくっとネット会員
10	保谷駅前	【共催事業】 高齢者対象講座 在宅医療と人生ノート ※高齢者支援課との共催	1 2 4	3月16日 土曜日 14時から16時40分	・映画『ピア～まちをつなぐもの～』を上映 ・団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、医療と介護の両方を必要とする高齢者が急増することが予想される。そこで最後まで自分らしく生きるにはどのようなかたちで迎えたいリアルに考える機会とする。	地域包括ケアシステム推進協議会委員（医師会、歯科医師会、薬剤師会等） 在宅療養の現場で働く専門職